

公 開 文 書

研究課題名 (研究番号 673)	カテーテル治療未認定施設における2次孔型心房中隔欠損症治療の実態調査
当院の研究 責任者(所属)	林勇佑 (小児循環器内科)
他の研究機関 および各施設の 研究責任者	なし
本研究の目的	<p>本邦での心房中隔欠損症(以下 ASD)に対するカテーテル治療は、2006 年に保険適応となって以降、現在では年間 1300 例ほどの実績があり、外科手術と並ぶ治療法になりました。熊本県には小児のカテーテル治療施設がなく、隣県の施設に治療を依頼する必要があります。外科手術も安全に行える昨今、低体重でのカテーテル治療はデバイスサイズと周囲組織への干渉などの問題を伴うため、最適な治療法と介入時期に迷うことがあります。</p> <p>カテーテル治療未認定施設である当院での 2 次孔型 ASD 治療とその後の経過を検討し、今後の治療法選択の一助とします。</p>
調査データ 該当期間	2013 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日
研究の方法	<p>本研究は過去の診療録をもとに行う後方視的観察研究です。調査項目としては、性別、初診時年齢、初診時主訴(診断契機)、基礎疾患(染色体異常など)の有無、治療手段(経皮的心房中隔欠損閉鎖術あるいは外科手術)、治療法選択理由、カテーテル治療施設への紹介の有無、治療前の経食道心エコー検査実施の有無、欠損孔のサイズ、Rim 欠損の有無、心臓カテーテル検査データ、治療時年齢、治療時体重、術後合併症、ICU 滞在日数、入院日数、輸血歴に関して検討します。</p>
個人情報の 取扱い	<p>利用する情報に氏名や住所などの患者様を直接特定できる個人情報は含みません。研究成果や論文投稿にて発表する場合にも、患者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p>

本研究の資金源 (利益相反)	開示すべき利益相反関係にある企業はありません。
お問い合わせ先	小児循環器内科 林勇佑 電話 : 096-365-1711
備 考	